

保護者からの事業所評価の集計結果（公表）

別紙

公表：令和 元年 6月 1日

事業所名 放課後デイサービス いちご

保護者等数（児童数15人中回収数15人割合100%）

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	未記入	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12		2	1		十分に確保されている この状態を維持する 設備基準の説明を積極的に行う
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12		3			加配配置を行っており、研修や勉強会へ積極的に参加を促しておりして専門性を高めている。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8		6	1		個々の身体状況に応じた環境調整を行っている。
適切な 支援の 提供 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ¹ が作成されているか	11		3	1		定期的にカンファレンスを開き、職員間で保護者のニーズや課題、支援方法を共有している。多角的に情報を評価しサービス計画に反映している。
	⑤	活動プログラム ² が固定化しないよう工夫されているか	12		2	1		生活訓練（調理レクやお手伝い活動）、運動、口腔ケアなどのセルフケアなどプログラムの多様化を図っている。利用者の状況に合わせて、個別支援を積極的に行い、プログラムを工夫している。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	1	4	3		より多く交流の機会を増やすように学校や町内会に働きかけを実施している。
保護者 への 説明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11		3	1		契約の際に、重要事項説明で保護者に分かりやすい文面で説明・質問等に対応している。随時、分からないところは電話対応で聞きやすい環境を作っている
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12		3			連絡帳・電話連絡・カンファレンス・関係機関の連絡相談により、共通理解を深めている。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	1	2	1		保護者との電話での相談や直接事業所に来られて相談等を受けている。プライバシーに配慮して個室を設けており、相談支援を行っている。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	9	1		父母の会は行っていない。保護者の方と相談し父母の会の創設や運営を検討していく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適	11		3	1		子どもや保護者に対して、できる限り迅速に、丁寧に、正確に情報を伝え、ご理解ご協力を得ている。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12		2	1		個人情報の取り扱いに十分留意した上で、連絡帳、配布物、インスタグラム、ホームページなど多様な媒介で情報公開に努めている。

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10		4	1		ホームページを適宜更新し、情報伝達に努めている。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	12		2	1		個人の名前、写真等、契約の際に説明・同意を得て情報を使用している。また、その情報の保存や処分時にも匿名性に配慮し取り扱いをしている。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	2	5	1		事務所の分かりやすい場所に、誰でも見れるように、置いている。今後は積極的に説明を行っていく
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4		8	3		マンションの管理会社と連携し、適宜対応している
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	12		3			子どもの表情や会話内容など、小さな変化に気がつけるように個別対応の時間を多く設定し、楽しみが継続するように留意している。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	13		2			現状に留まらず、ご利用者やご家族のニーズに応じた支援を提供する。新しい情報や技術を積極的に取り入れ専門性を高める。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。